

チャイコフスキー作曲 歌劇「スペードの女王」

191013

幕	場	場面	内容	分	主な歌う登場人物				見どころ
第一幕 60分	序曲			5					
	1	伯爵夫人の秘密	ゲルマンは、身元がわからない女性に一目惚れしたので悩んでいる。その後その女性がエレッスキー公爵の婚約者であることがわかった。そこに老いた伯爵夫人とその孫リーザが通りがかり、ゲルマンはリーザこそ片思いの相手であることを知った。友人のトムスキー公爵から、貧しいゲルマンが伯爵夫人の秘密を知れば悩み事が解決するのではないかと話す。ひとり残ったゲルマンは、伯爵夫人の秘密を、リーザを通じて手に入れることを誓う。	30	ゲルマン	トムスキー	エレッスキー	リーザ	伯爵夫人
	2	愛を受け入れる	リーザは、友人のパウリーネ達とともに遊んでいるが、お見合い結婚に不満な彼女は、公園にいる男性の魅力的な姿に心惹かれていた。家に戻った後いきなりリーザのバルコニーにゲルマンが現れ、一目惚れしたことを伝える。リーザはゲルマンも立ち去るように言うが、気持ちに抗いきれずに彼の抱擁を受け入れる。	25	ゲルマン			リーザ	伯爵夫人
第二幕 55分	1	積極的なリーザ	ある貴族の仮面舞踏会で、リーザは婚約者のエレッスキーから愛を伝えられるが、ゲルマンの強硬な求愛により、愛の炎が燃えているリーザには効果が無い。リーザは、ゲルマンに逢引きのメモを渡す。ゲルマンが伯爵夫人の秘密を知ることになる「3人目の要求者」であると囁いて群衆の中へ消えていく。リーザはゲルマンの手に祖母の部屋の鍵を忍ばせ、祖母は明日部屋に戻ってこないと伝えるが、ゲルマンは深夜に訪ねると言ってきかない。自分が伯爵夫人の秘密を手にする運命なのだと考えつつ、ゲルマンはその場を後にする。	30	ゲルマン	トムスキー		リーザ	
	2	伯爵夫人の死	ゲルマンは、伯爵夫人の部屋へ忍び込みモスクワのビーナスの肖像に見惚れつつ、自分と彼女の運命がいかに交わっているかに想いを馳せている。伯爵夫人が近づくと彼は身を隠す。伯爵夫人は現在の日々を嘆き、彼女がヴェルサイユ宮殿でポンパドゥール夫人その人を前にアリアを歌っていた若かりし善き時代の思い出を語る。夫人がうたた寝を始めるとゲルマンが彼女の眼前に立つ。目覚めた夫人は慄くが、ゲルマンは彼女にカードの秘密を教えるように訴えかける。夫人が何も言えないでいるとゲルマンは窮余の策で銃を突き付けて脅す - すると夫人は恐怖のあまり絶命してしまう。リーザが駆け込んできて、自分が心を捧げた恋人には伯爵夫人の秘密の方が大事だったのだと知る。ゲルマンに出ていくように告げ、リーザは涙にむせぶ。	55	25	ゲルマン		リーザ	伯爵夫人
第三幕 60分	1	伯爵夫人の幽霊	半年後、兵舎でゲルマンがリーザからの手紙を読んでいる。そこには故意の殺人ではないことと、真夜中に運河で会いたい、とある。そこで、窓をノックされて跳び上がり夫人の幽霊が現れて告げるには、ゲルマンがリーザと結婚し彼女を守れるようにするため、自らの意に反して彼に秘密を教える、という。「3、7、A」であった。	13	ゲルマン				伯爵夫人
	2	リーザの自殺	運河でリーザがゲルマンを待っている。深夜なのに、彼女はまだ彼が自分を愛してくれている、と信じているものの、彼女の若さと幸せが闇に呑まれる様子を目にする。現れたゲルマンは安心させるような言葉を投げかけたと思うと、伯爵夫人とその秘密について想定外の言葉を口走り始める。もはやリーザのことすら眼中にない彼は走り去ってしまう。全てを失ったことをようやく悟り、リーザは自ら命を絶つ。	17	ゲルマン			リーザ	
	3	ゲルマンの自殺	賭博場で、リーザに婚約破棄されたエレッスキーは「愛では不運だったが、カードでは幸運だ。」ゲームのために席に着くと、興奮状態で取り乱した様子のゲルマンが現れて一同は驚く。衝突を察したエレッスキーはトムスキーに対し、もし勝負になるのであれば補佐に欲しいと頼む。ゲルマンは賭けることしか頭になく、賭けを開始する。ゲルマンは、「3」に続き「7」に賭け勝利を手にする。ここで彼はワイングラスを手に取り、人生はただのゲームだとうそぶく。ゲルマンは持てるものすべてを「A」に賭けるが、カードを見せるとなぜかスペードのクイーンであり負けた。ゲルマンは、もともと元手無しの貧乏士官で、負けてもゼロになっただけで困らないはずだが、落ち込む。殺されて復讐を遂げた伯爵夫人の幽霊の哄笑を目にして、ゲルマンは自殺してエレッスキーとリーザに謝罪する。	60	20	ゲルマン	トムスキー	エレッスキー	

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。